

2026年1月〜3月

竹久夢二美術館 企画展プレスリリース



夢二・かいちを中心に、名もなき図案家まで

大正ロマンの小さな美 絵封筒の世界展

2026
1.3—3.29
sat sun



竹久夢二美術館
TAKEHISA YUMEJI MUSEUM

① 富田洋仙 田 絵封筒大正期 ② 伊藤としき 田 絵封筒大正期 ③ 山口八子 田 絵封筒大正期 ④ 下段 田 図案不詳 絵封筒昭和初期

ごあいさつ

絵封筒（えふうとう）とは、和紙に木版色刷りに
よって草花や風景、また様々な図案があしらわ
れた封筒で、大正から昭和初期にかけて流行しました。

「夢二式美人画」で知られる竹久夢二(1884-1934)は
この分野でも才能を発揮し、絵封筒を情趣豊かに彩り
ました。また京都で活躍した図案家・小林かいち(1896-
1968)による色鮮やかでモダンな絵封筒は女学生の人
気を集め、近年再び注目されています。

本展では夢二・かいちを中心に、日本画家から名もな
き図案家による絵封筒を展覧します。俳画を思わせる
洗練された意匠から乙女趣味のモダンなデザインま
で、時代の流行を投影しながら手紙に華を添えた絵封
筒の魅力に迫ります。

展示コーナー ※予定

- ◆絵封筒の美 竹久夢二
- ◆絵封筒の美 小林かいち
- ◆画家が手掛けた絵封筒
 - ・浅井忠 ・麻生豊 ・石井柏亭 ・伊藤としを
 - ・加藤まさを ・河合卯之助 ・川端龍子 ・斉藤与里
 - ・杉浦非水 ・津田青楓 ・畠田溪仙 ・橋口五葉
 - ・秦テルヲ ・人見少華 ・平井房人 ・不二木阿古
 - ・松瀬青々 ・村上華岳 ・元井三門里 ・森谷南人子
 - ・山口八九子
- ◆知られざる画家の絵封筒 ～多彩な図案より～
- ◆絵封筒の基礎知識
- ◆明治の絵封筒
- ◆雑誌付録の絵封筒
- ◆絵封筒の版元 ・榛原 ・さくら井屋 他
- ◆資料でひもとく絵封筒の流行

特別展示

生誕130年記念 小林かいちの世界

- ・現代的抒情版画絵葉書
- ・絵封筒にみるモチーフの魅力
- ・「さくら井屋ニュース」寄稿

出品点数 ※予定 500点
うち絵封筒 約480点

展覧会の見どころ

- ✓ **大正期のコレクターズアイテムだった
絵封筒を再発見する企画展
時代を映し出す多彩なデザインに注目し
絵封筒を約480点展示します**
- ✓ **明治期の絵封筒をはじめ
雑誌付録(昭和初期)の絵封筒も展示
絵封筒流行の実態をひも解く
貴重な文献も紹介します**
- ✓ **2026年に生誕130年を迎える
小林かいちの特別展示コーナーを
設けます**

注目作家 竹久夢二・小林かいち

竹久夢二

TAKEHISA YUMEJI

明治 17 年－昭和 9 年
1884－1934

画家・詩人

岡山生まれ。本名、竹久茂次郎。
大正ロマンを象徴する画家・詩人として活躍。挿
絵画家からスタートし、以後日本画、木版画、油
彩の他、デザイン分野においても筆をとった。
絵封筒も数多く手掛け、複数の版元から多彩な図
案が展開された。



小林かいち

KOBAYASHI KAICHI

明治 29 年－昭和 43 年
1896－1968

裾模様図案家

京都生まれ。本名、小林嘉一郎。
京都・さくら井屋が版元となった、独特の和風ア
ール・デコ様式の木版絵封筒、絵葉書の意匠を多
数手掛ける。
祇園に住み、「歌治(うたぢ)」の雅号で「京都図案
会」に所属する着物(裾模様)の図案家でもあつ
た。



出展作品(広報用画像)の紹介

参考:絵封筒のサイズはヨコ63mm×タテ153mmが主流。
現在よく使用する長形4号封筒(【ヨコ90mm×タテ205mm】
B5用紙を横に4つ折りにして入れる)よりひと回り小さいです。



①竹久夢二・画 柳屋のための絵封筒画稿 1916 年



②竹久夢二・画 絵封筒 大正期 【版元】佐々木・つくし屋



③



④



⑤

③④⑤小林かいち・画 絵封筒 大正末期～昭和初期 【版元】さくら井屋
乙女デコ調の女性像、鈴蘭や薔薇の花、教会・十字架、ゴンドラなど魅惑的なモチーフで、かいちは絵封筒を彩った



⑥左)山口八九子・画 絵封筒 大正期 【版元】佐々木
右)畠田溪仙・画 絵封筒 大正期 【版元】つくし屋



⑦岡本井筒・画 絵封筒 昭和初期 【版元】さくら井屋
5枚並べると一枚絵のように鑑賞できる絵封筒



⑧画家不詳 絵封筒 大正～昭和初期 【版元】榛原



⑨画家及び版元不詳 絵封筒 大正～昭和初期

展覧会概要

展覧会名称

大正ロマンの小さな美 絵封筒の世界展
—夢二・かいちを中心に、名もなき図案家まで—

主催 竹久夢二美術館

会場 竹久夢二美術館

住所 〒113-0032 東京都文京区弥生2-4-2

Tel 03-5689-0462

会期 2026年1月3日(土)
～3月29日(日)

休館日 月曜日

※ただし1月12日、2月23日(祝・月) 開館
翌1月13日、2月24日(火) 休館

開館時間 10:00～17:00(最終入館 16:30)

交通

東京メトロ千代田線〈根津駅〉及び
南北線〈東大前駅〉よりいずれも徒歩7分
JR上野駅 公園口より徒歩20分



入館料

一般 1200円 大・高生 1000円
中・小生 500円

※弥生美術館と併せてご覧頂けます。

ギャラリートーク

1/17(土)、2/15(日)、3/14(土)

いずれも午後2時より、担当学芸員が展示解説を行います。(所要時間約45分)

ホームページ

<https://www.yayoi-yumeji-museum.jp>



10 展覧会チラシ

竹久夢二美術館

1990年11月3日開館。創設者・鹿野琢見(1919-2009)の夢二コレクションを公開。今年開館35周年を迎えました。館が建つ東京・本郷は、夢二が滞在した〈菊富士ホテル〉がかつてあり、最愛の女性・笠井彦乃と逢瀬を重ねた場所。今なお昔の風情を留めて静けさと木々の緑に包まれています。都内で夢二作品を鑑賞できる唯一の当館では、年4回3カ月ごとに企画展を行い、夢二の生涯や芸術より様々なテーマを採り上げ、常時約200～250点の夢二作品を展示しています。



夢二カフェ 港や



店名の「港や」は、竹久夢二が1914年に東京・日本橋に開店した小間物店「港屋絵草紙店」から名づけました。看板メニューは「野菜の甘味ぎつしりカレー」と、夢二のカット絵を添えたカプチーノ。企画展ごとに提供する期間限定メニューも人気です。



展覧会についてのお問い合わせは

竹久夢二美術館 学芸員 石川桂子 までお願いいたします。

Tel 03-5689-0462 fax 03-3812-0699



FAX 03-3812-0699

竹久夢二美術館 石川 行

大正ロマンの小さな美
絵封筒の世界展
夢二・かいちを中心に、
名もなき図案家まで

【画像使用申込書】

画像送付日 月 日 必着

掲載紙（誌）／番組名	
発売／放送予定日	
所属・ご担当者名	
ご住所 〒	
TEL	FAX
メールアドレス	

ご希望の図版番号に○をしてください。

図版番号（プレスリリースをご参照ください）									
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10

読者プレゼント招待券（5組10名）	希望する	希望しない
-------------------	------	-------

通信欄

画像データの提供について

同封のプレスリリースに掲載の図版について、メールで画像データをお送りいたします。
ご希望の場合は、この申込用紙に必要事項をご記入の上、FAX 03-3812-0699 までお送りください。
また美術館写真（外観／展示室）等を必要とされる場合はご一報ください。

読者プレゼント用招待券のご提供について

読者プレゼント用にご招待券（5組10名様分）をご用意いたします。この用紙にてお申し込みください。

掲載紙（誌）ご送付のお願い

本展に関する記事をご掲載いただきました際には、お手数ですが掲載誌（紙）をお送りくださいますようお願い申し上げます。 〒113-0032 東京都文京区弥生2-4-2 竹久夢二美術館 担当 石川宛